

多様な担い手で地域を元気にする！「獣がい対策」実践塾に参加して

藤木健太・井口翔矢・青野寛大・岩島早苗
(兵庫県立篠山鳳鳴高等学校・自然科学部)

I. 「獣がい対策多様な担い手研修会」とは

農村・山村では過疎化によって手入れされない農耕地や里山が拡大し、それに伴ってシカやサルなどの野生動物がヒトの生活圏と接して暮らすようになり、いわゆる獣害が問題となっている。それに対して野生動物を「害」と考えず、住民にとってプラスの存在に変えていく対策(獣がい対策)を模索するのがこの研修会の目的である。この研修会には地域の当事者のみならず、都市住民や高校生など幅広い立場の人が参加している。

II. 今年度の研修会の活動内容

- 第1回 7月20日 オリエンテーション
(四季の森学習センター)
- 第2回 8月31日 シカ・イノシシの
防除と捕獲の実地研修(矢代地区)
- 第3回 9月28日 サル対策とツーリズム
(矢代地区)
- 第4回 10月27日 柿の有効活用
(福住地区)
- 第5回 12月11日 獣がいフォーラムに
向けた企画検討(四季の森)



多様な担い手研修会での研修の様子

※12月14日・15日 獣がいフォーラムでの発表(矢代地区・ユニットピア篠山)

14日：フィールド体験

「地域主体の対策と獣がいツーリズムの可能性を探るコース」で現地説明。

サルの位置情報を活用した追い払い、効果抜群のおじろ用心棒、シカ・イノシシ防護柵点検など矢代集落の獣害対策の現場を高校生が説明。 昼食は地域のお母さんの手づくり料理を頂きながら、地域を元気にする「獣がいツーリズム」の可能性を参加者全員で考えた。

15日：「私たち高校生が考えた企画案」

次の3点について発表

- ① 「獣がい対策」実践塾で私たちが学んだ・考えたこと
- ② 獣害対策と柿の有効活用
- ③ 篠山の高校生が考えた獣がいツアー



フィールド体験の様子



発表中の様子

Ⅲ. 「篠山の高校生が考えた獣がいつツアー」について

12月15日に発表した「私たち高校生が考えた企画案」のうち③篠山の高校生が考えた獣がいつツアーについて考察する。

このツアーの内容は、高校生の発信力・ブランド・話題性から協議をして立案するものとする。

これを踏まえて次の3つのプランを作成。

- ① 鹿がみられるホテルで矢代の魅力を感じるツアー
- ② 高校生が伝える篠山の魅力丸ごとツアー
- ③ 農家しか知らない酸いも甘いも体験ツアー

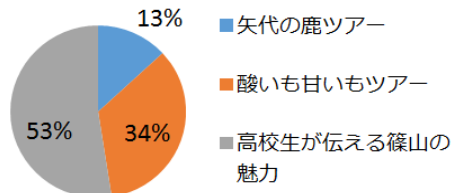
この3プランについて第2回獣害フォーラムの参加者に

アンケートを実施する→結果は上のグラフの通り②が参加してみたいツアー1位となった。

この結果を受けて「高校生が伝える篠山の魅力丸ごとツアー」をベースに次の3点を入れて再計画。

- 誰に：主に都市部の住民(農業に関心のあるひと)。
- 誰が：地域の住民(篠山の高校生)。
- なぜ：篠山を伝えたい(農作物のおいしさ・地域の自然の豊かさ・獣害の現状)
- どのように：獣害対策の現状を高校生が解説。アンケート結果を踏まえ農作業と料理を中心とする。→農作業(草刈り・消毒・防護柵設置・収穫など裏も表もすべて体験)料理(害獣での料理、地域の方の手づくり)害獣の観察。

参加してみたいツアーはどれですか
【回答数61】



| ツアースケジュール 例 | 食事内容 | 「おてつたび」のシステムを使えないか? |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1日目 10:00～ 集合・講座 11:30～ 昼食用意 12:30～ 昼食 13:30～ 農作業 17:00～ 夕食準備 18:30～ 夕食 21:00～ 夜間 いきもの観察 2日目 7:00～ 朝食 9:00～ 農作業 11:30～ 昼食準備 12:30～ 昼食 13:30～ 振り返り 14:30 解散 | 1日目昼食 場所：地域公民館 料理人：参加者+地域住民 内容：日本一の学校給食を作ろう 1日目夕食 場所：市内旅館・ホテル等 料理人：参加者+プロ料理人 内容：シカ肉の低温調理法を学ぶ 料理はシカ肉コース 2日目朝食 場所：市内旅館・ホテル等 料理人：参加者+矢代のお母さん方 内容：地元夏野菜を使った朝食 2日目昼食 場所：BBQ場 料理人：参加者 内容：焼きボタンバーベキュー | <p>「おてつたび」とはワーキングホリデーの国内版のようなシステム。草刈り・獣がい防護柵の設置・農薬散布・収穫など実践的な農作業を体験してもらい、その労働報酬がキックバックされることで参加代金を安くする。</p> |

Ⅳ. まとめ 感想など

私達は、今年度が初めての参加だったが、地元で問題となっている獣害について驚くほど無知であったことに気づいたことと同時に“獣がい”についてもっと多くの人に認知してもらい、協力して解決にあたるべきだと感じた。私達も丹波篠山の住民のひとりとして、今回紹介したツアー計画を推進していくことを通じ、地域の課題の解決、そして発展に貢献していきたい。